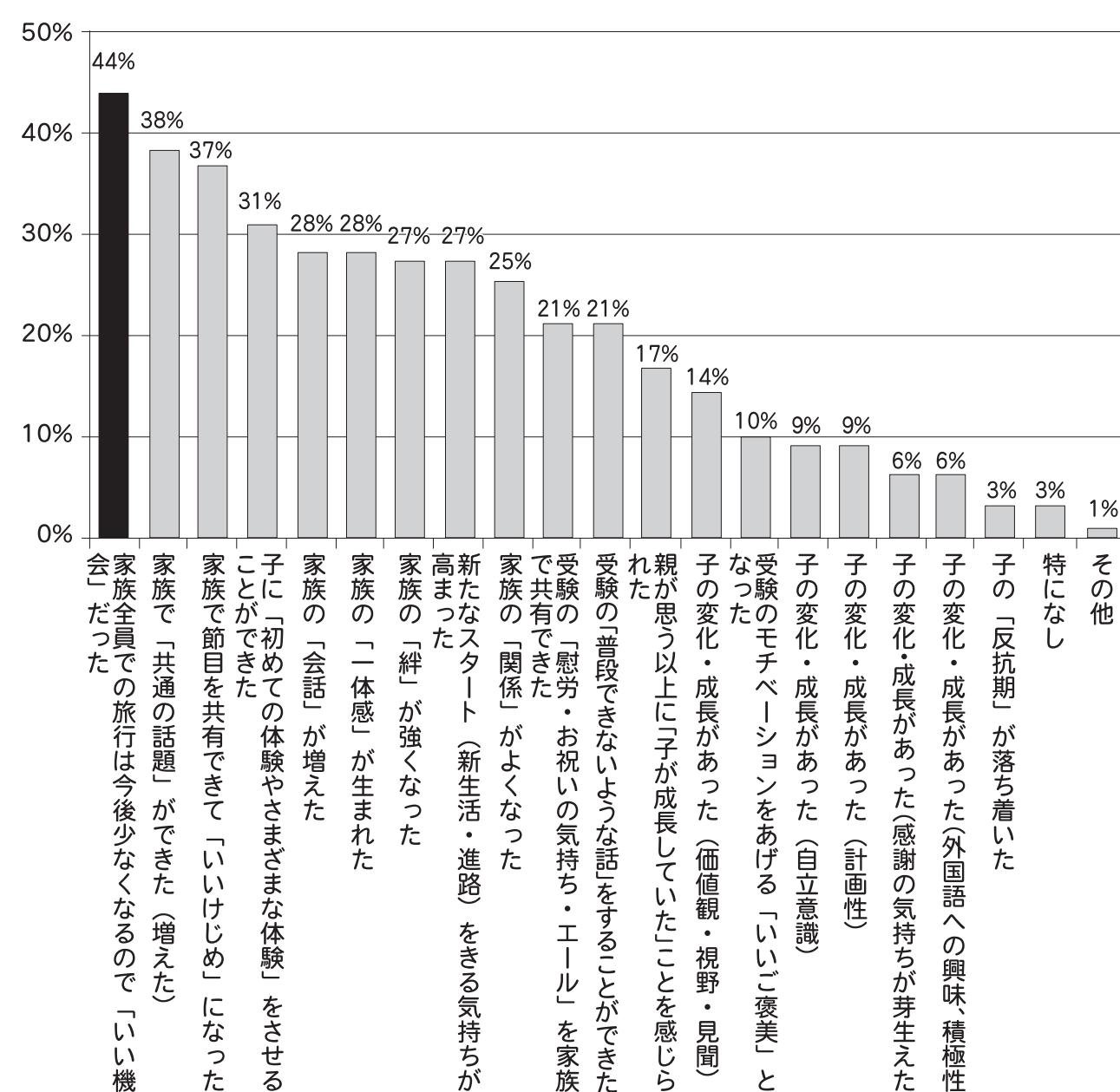


# 4割以上が「貴重なチャンス」と実感

## ジャルパック「卒業記念家族旅行」実態調査

親に聞く「卒業記念家族旅行に行ってよかった」と実感すること(複数回答)

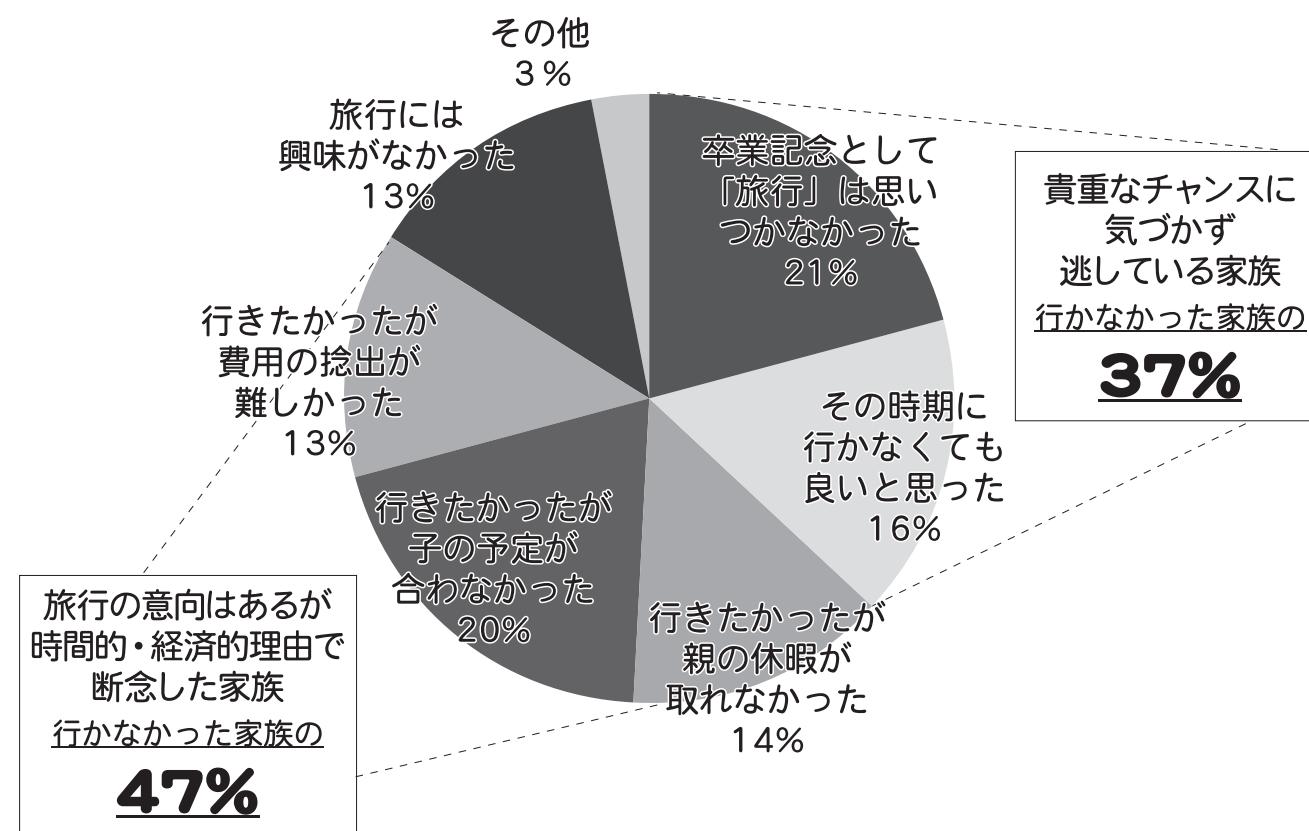


### 調査データ

#### 実際に行った親から寄せられた声、エピソード

- 子どもより大人が理由をつけて出かけたが、やはりわが子がここまで大きくなり卒業旅行ができることに感動した。(40歳男性)
- 進路がどうなるかわからない時期に予約をいれました。駄目でも行こうと。旅行の日には希望の大學生へ合格でき、とても嬉しい旅行になりました。(47歳女性)
- 家族がそろって旅行ができるのもこれが最後かもしれないという思いから、時間もお金も無理やりだったかもしれませんのが笑顔で楽しく過ごせたことが一番の宝となった。(46歳女性)
- 反抗期の次男が旅先ではよく話し、優しかったのが印象に。(53歳女性)
- 息子から感謝された。(48歳男性)
- 首里城に行って沖縄の歴史や現在のことについて子どもと深く語り合えた。そんな年になったのだと感慨深かった。(50歳女性)
- 子どもがいつも以上に楽しそうだった。普段話せないようなこともいろいろ話をすることができた。(45歳男性)
- 家族そろって出かけること自体ほとんどないので全員で出かけることができて良い記念になった。(54歳女性)
- 受験、受験でここ何年かがんばっていたので、久しぶりに家族のピリピリ感が消え、楽しく過ごせた。(41歳女性)
- 娘と2人きりは初めてで娘が行き先を調べてくれて成長も感じられた。小さい時の旅行とはまた違った旅行でした。(46歳女性)

#### 卒業記念家族旅行に行かなかった理由・背景



#### 調査概要

- ・調査タイトル:「卒業記念家族旅行」に関するアンケート調査
- ・調査対象: [親]一昨年度～昨年度卒業または今年度卒業予定の子どもがいる40～50代の男女8,867名  
[子]昨年度卒業・今年度卒業予定の12～22歳の男女1,858名
- ・調査期間: 2017年9月14日～2017年9月21日
- ・調査方法: インターネット調査
- ・調査地域: 全国
- ・調査主体: 株式会社ジャルパック

ジャルパックはこのほど、3位が北海道だった。  
「卒業記念」と推察される家族旅行についての実態について調査結果を発表した。これによる旅行計画への参画意欲を高め、実際に行った親の4割以上が「家族の貴重なチャンスだった」と実感していることが分かった。  
同社は、卒業旅行が増加傾向にあることから調査を行った。9月14～21日にインターネットで実施。親世代8,867人、子ども世代1,858人から回答を得た。

卒業記念として行う家庭のインバントでは、「何もない」が42%で最も多く、「外食」が39%、「国内(宿泊)旅行」が16%で続いた。学年別

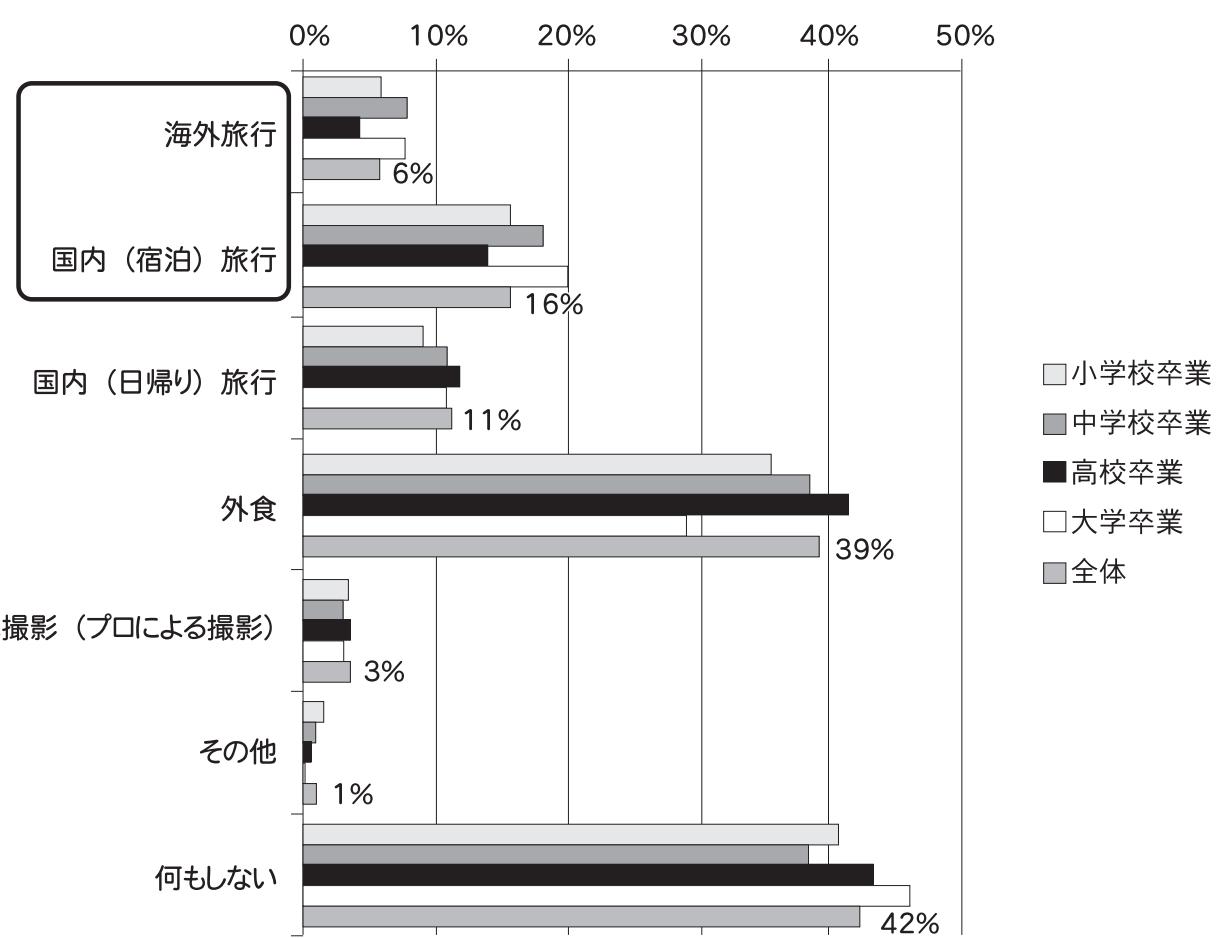
では中学校卒業、大学卒業時に旅行に行く率が高くなっているものの、卒業記念旅行といふ旅行は1位が「東京・千葉」と見えているところ、国内旅行はまだ大多派

で、中学校卒業、大学卒業時に旅行に行く親の「内訳」を見ると、旅行の計画への参画状況

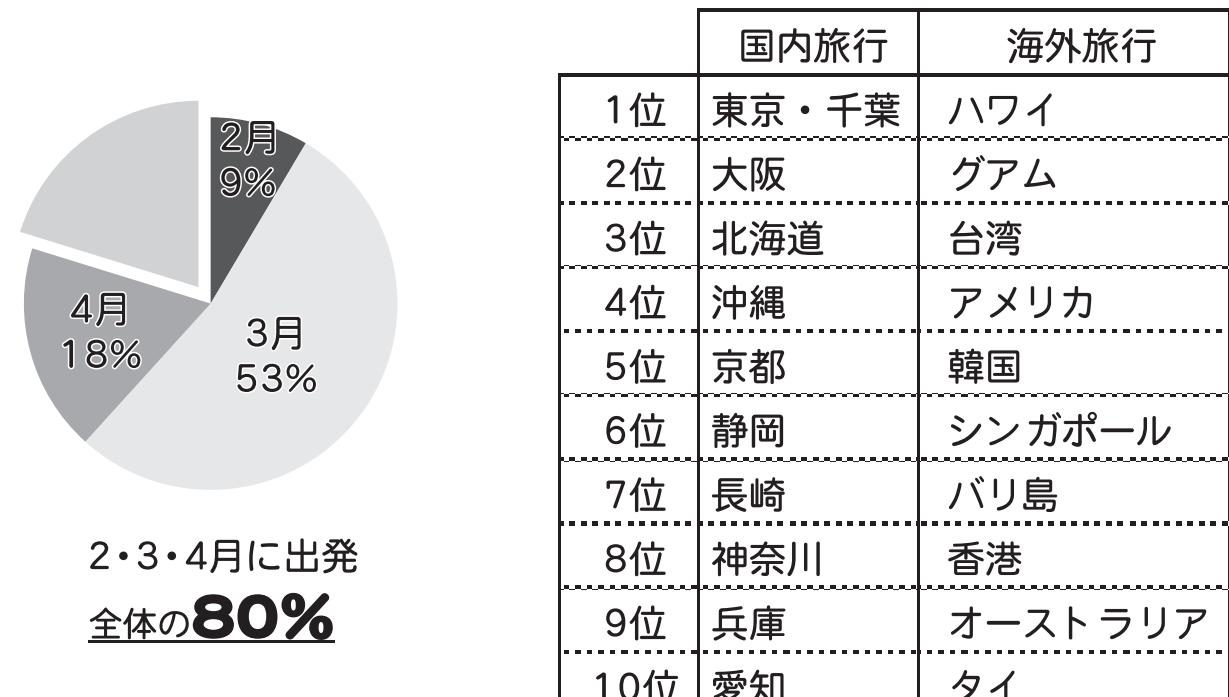
は、中学校卒業の親が「自分も少し計画」、高校卒業の親が「ほとんど計画」と回答。

## 子世代の6割以上が自分で計画したい

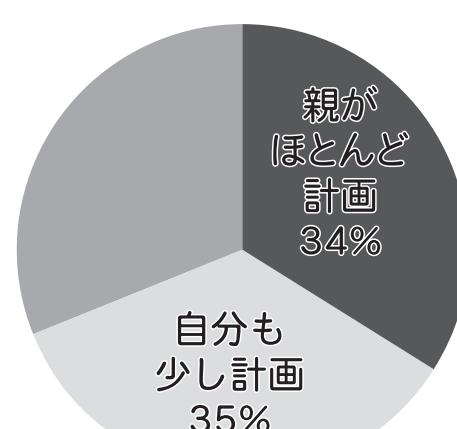
#### 昨年度の卒業に際して「家族で行ったもの」(複数回答)



#### 卒業記念の家族旅行 出発月 旅行の行き先ランキング



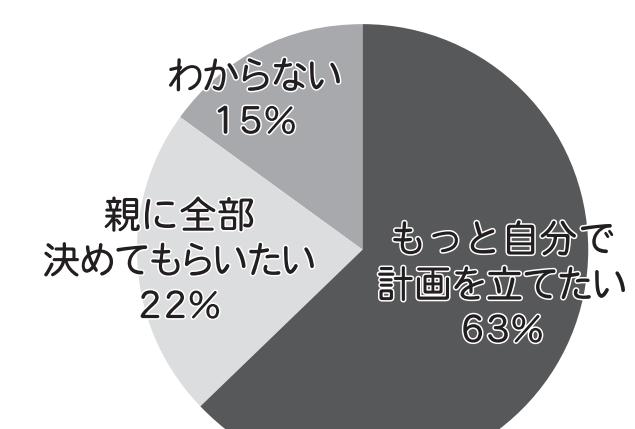
#### 子に聞く「旅行計画」への参画状況



旅行の計画にあまり関われていない

全体の69%

#### 子に聞く「旅行計画」への参画意欲



もっと自分で旅行計画を立てたい

全体の63%